

お施主様用

工事店様用

# IEL電気錠システム 取扱説明書

電気錠 : DL-1763 (制御ケース)  
DL-1764 (増設ケース)

## 《工事店様へお願い》

取付・調整の後、本書を  
お施主様にお渡しく下さい

## ■はじめに

この度は、弊社製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。  
本製品を安全、確実にご使用いただくために、ここに書かれている注意事項を必ず  
お守りください。

## ■安全のために

本装置は、100ボルト電源（AC100V）を使用します。感電・漏電・火災等の事故  
や、故障の元となりますので、ここに書かれている注意事項を必ずお守りください。

### お施主様へ

-  分解・取り外しや改造はしないでください！  
修理や移設・取り外しは、工事店様または弊社サービス店におまかせください。  
発熱等の異常が発生した場合は、ブレーカーを切って電源を落とし、弊社へご連絡ください。
-  水などの液体をかけたり、水にぬれた手で触らないでください！
-  装置の中に、針やヘアピンなどの金属を差し込まないでください！  
日常は、製品のカバーを閉めてお使いください。
-  強い衝撃を与えないでください！  
内部回路が破損して動作しなくなります。

### 工事店様へ

-  操作盤は必ずアース（接地）してください！  
アースはD種接地工事をしてください。  
アースされていない場合、IDキー（非接触タグ）の読取が悪くなる場合があります。  
機器の保護の為にアースが必要です。
-  室外から容易に解錠ボタンを操作できる場所に機器を設置しないでください！
-  操作盤と他機器を接続する配線は引き込み線がAC100V/AC200Vの屋内配線から  
離し外壁近辺に通さないでください！
-  電源の配線は特に注意して、抜け・ゆるみが無いように確実に結線してください！  
AC100V電源の工事は、電気工事士の資格所有者が行ってください。
-  操作盤、操作表示器は、雨や水のかかる場所・湿気の多い場所や、ホコリの  
多い場所には設置しないでください！
-  操作盤、操作表示器は、直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温  
(50℃)となる場所には設置・放置しないでください！
-  感電注意！ 結線する場合は必ずブレーカーを落として電源も切った状態で行ってください！

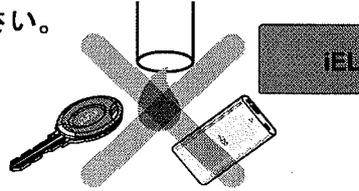
## ■ IDキー（ノンタッチキー、携帯キー、タッチキー）取り扱い上の注意事項

下記にIDキーを使用する上での注意事項を記載しますので、必ずお守りください。

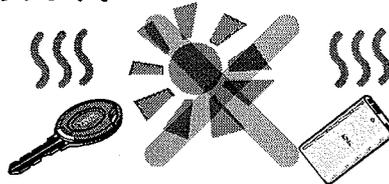
⚠ 心臓ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師や医療機器製造メーカー等へ影響をご確認いただいてから使用してください。

⚠ IDキーを故意に傷つけたり、折り曲げたりしないでください。

⚠ IDキーを水に濡らさないでください。



⚠ IDキーを直射日光の強い場所や炎天下の車内など、高温の場所に放置しないでください。IDキーが変形する恐れがあります。

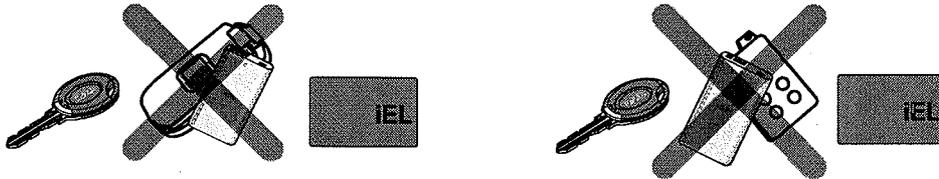


⚠ IDキーをズボンのポケットに入れて持ち歩く場合、曲げ応力が加わるような携帯方法、使用はお避けください。IDキーが破損したり、機能を損なう恐れがあります。

⚠ カード型のIDキーはお財布や定期入れに入れたままでも使用できますが、金属物（コイン等）や他の非接触ICカードなどが一緒に入っていると通信距離が短くなったり反応しない場合があります。

⚠ IDキーを衣類のポケットに硬貨などの金属類と一緒に入れたりしないでください。IDキーに傷がつく恐れがあります。

⚠ IDキーを携帯電話やノートパソコン、自動車用キーレスエントリーキーなど電磁波を発生する機器と一緒に携帯しないでください。IDキーが正常に機能しない恐れがあります。



⚠ IDキーを紛失した場合、直ちにIDキーの登録を抹消してください。

⚠ 停電時はIDキーでの施錠／解錠動作は一切できません。必ずIDキーとは別にキー（鍵）を携帯してください。

⚠ IDキーを分解しないでください。（但し電池交換時やカラーチップ交換時は除く）

## ■目次

■はじめに	1
■安全のために	1
■IDキー（ノンタッチキー、携帯キー、タッチキー）の取り扱い上の注意事項	2
■目次	3
■概要	5
■システム構成	5
第1章 電気錠	
1. 各部の説明	6
2. キー・サムターンによる操作方法	7
3. 自動施錠設定スイッチの設定方法	7
第2章 操作盤・操作表示器（※別途手配品）	
1. 各部の名称	8
2. ランプ表示の説明	9
3. 外部入出力の説明	10
4. 電気錠（制御ケース）への操作盤シリアルNo. 登録方法	11
5. 操作盤・操作表示器からの操作方法	12
第3章 リーダ（※別途手配品）	
1. ノンタッチリーダ	
1) 各部の説明	13
1-1. リーダ各部の名称	13
1-2. IDキー（ノンタッチキー）	13
2) ノンタッチリーダの運用上の注意	14
3) IDキー（ノンタッチキー）の登録・抹消方法	15
3-1. 登録（連続登録）	15
3-2. 全抹消	16
3-3. 個別登録と個別抹消	17
4) ブザー設定	18
5) IDキー（ノンタッチキー）による操作方法	19
5-1. 施・解錠動作説明	19

## 目次

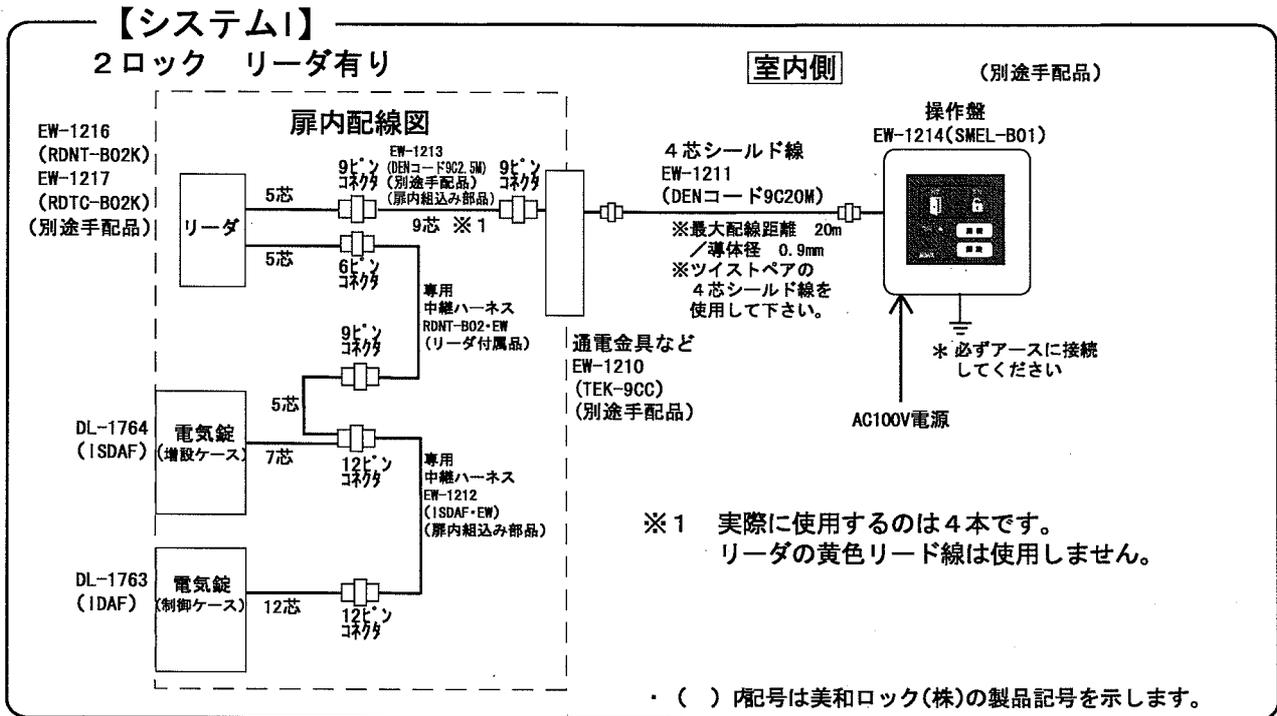
2. タッチリーダ	
1) 各部の説明	21
1-1. リーダ各部の名称	21
1-2. IDキー (タッチキー)	21
2) タッチリーダの運用上の注意	22
3) IDキー (タッチキー) の登録・抹消方法	23
3-1. 登録 (連続登録)	23
3-2. 全抹消	24
3-3. 個別登録と個別抹消	25
4) ブザー設定	26
5) IDキー (タッチキー) による操作方法	27
5-1. 施・解錠動作説明	27
3. 携帯キーリーダ	
1) 各部の説明	30
1-1. リーダ各部の名称	30
1-2. IDキー	30
2) 携帯キーリーダの運用上の注意	31
3) IDキー (携帯キーカード、携帯電話) の登録・抹消方法	32
3-1. 登録 (連続登録)	32
3-2. 全抹消	33
3-3. 個別登録と個別抹消	34
4) ブザー設定	35
5) IDキー (携帯キーカード、携帯電話) による操作方法	36
5-1. 施・解錠動作説明	36
6) KEYMO アプリ初期設定手順	38
6-1. アプリをダウンロードする	38
6-2. シリアルナンバーを購入する	38
6-3. KEYMOアプリでシリアルナンバーを認証する (初期設定)	38
6-4. 錠前に登録する	38
7) 携帯キーの登録方法について	39
第4章 保守	
■トラブルシューティング	40
■管理台帳	46
■お手入れ方法	47
■機器仕様	48

## ■概要

本製品は、防犯性と利便性を兼ね備えた1ドア2ロックの電気錠システムです。基本構成は、電気錠(2台)、リーダ(受信器)、操作盤の3つから成り、IDキー(非接触タグ)によるキーレスエントリーや居室からの遠隔監視、操作が可能です。お客様の運用形態(システム構成および設定)により、機能が異なる場合がありますので、本取扱説明書の該当部分をご覧ください。又、電気錠以外は別途手配品になっておりますので、各製品の取扱説明書等もご覧ください。

## ■システム構成

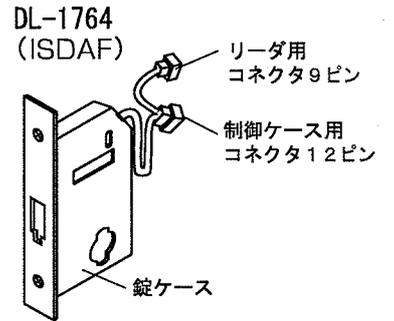
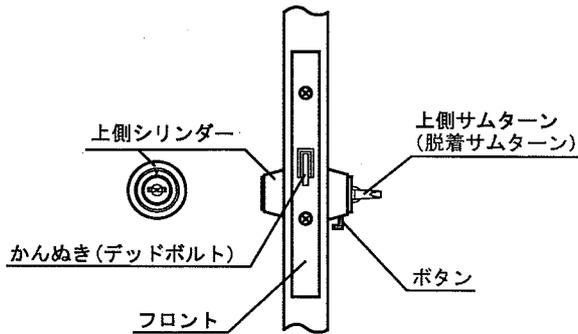
代表的なシステム構成を示しますので、ご参考ください。



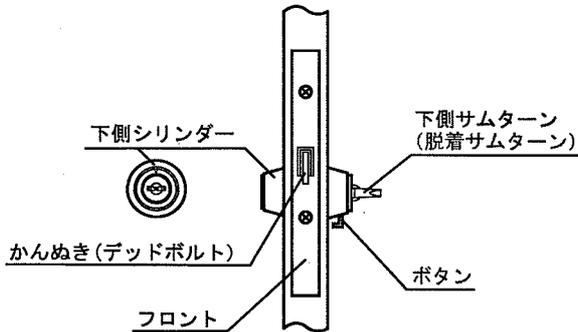
■第1章 電気錠  
1. 各部の説明

■各電気錠の説明

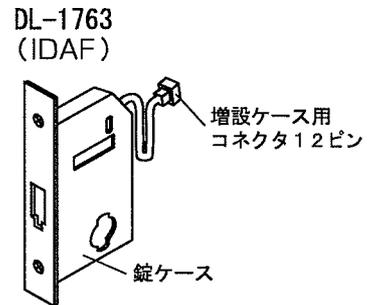
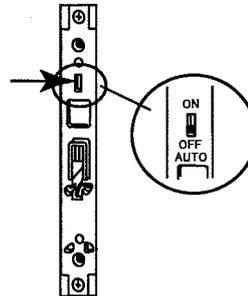
【増設ケース(上側の錠)】



【制御ケース(下側の錠)】

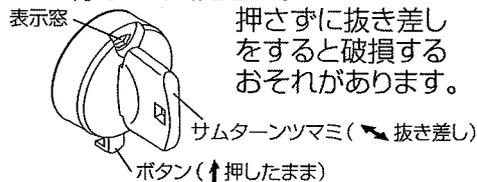


制御ケースのフロントを外すと、自動施錠設定スイッチがあります。



脱着サムターンの取扱い方法

- サムターンツマミの抜き差しは、必ず下部のボタンを押したまま行なってください。



押さずに抜き差しをすると破損するおそれがあります。

- サムターンツマミは施錠解錠の方向(縦横)に注意して差込んでください。逆方向では差込めません。

サムターンツマミの向き



施錠時…ヨコ 表示窓…緑色  
解錠時…タテ 表示窓…黄色

## ■第1章 電気錠

### 2. キー・サムターンによる操作方法

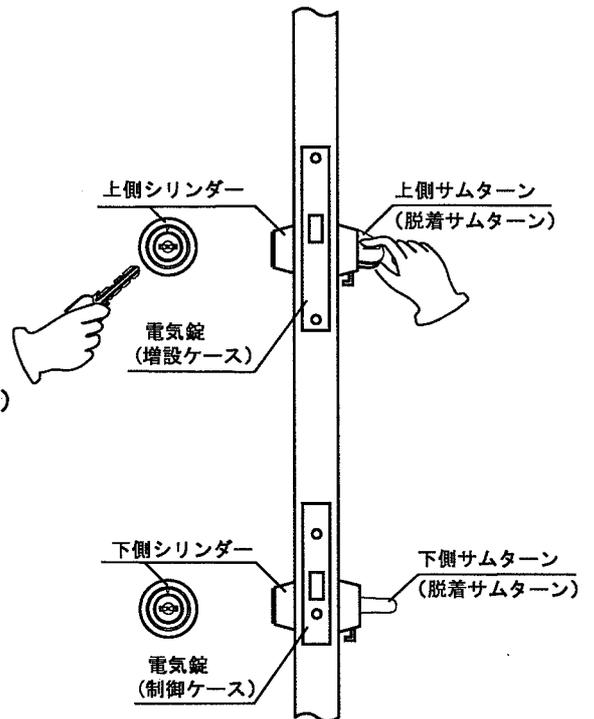
#### ■解錠する時 (2ロックの場合)

1) 上側(下側) 電気錠をキー又はサムターンで解錠する。

2) 下側(上側) 電気錠をキー又はサムターンで解錠する。

3) 2ロック共、解錠を保持。

注) 20秒以内に、上側及び下側の両方の電気錠を解錠操作してください。防犯性を考慮して、片方の電気錠だけを解錠した状態で20秒経過すると、自動的に施錠復帰するようになっています。(施錠復帰機能)



#### ■施錠する時 (2ロックの場合)

1) 上側電気錠をキー又はサムターンで施錠する。

2) 下側電気錠が自動的に施錠する。(施錠追従機能：便利機能)

先に下側のキー又はサムターンで施錠した場合は、上側は自動的に施錠しません。

\* 上側のキー又はサムターンを操作して施錠してください。

(上側電気錠に手が届かない小さなお子様が悪く施錠してしまった時の閉じ込め防止への配慮です。)

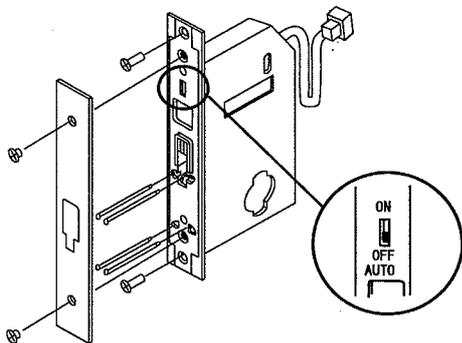
※停電時は停電前の状態のままです。

停電が解消しても状態は変わりません。

### 3. 自動施錠設定スイッチの設定方法

自動施錠設定を「ON」にすると、電気的的操作(操作盤やIDキーなど)で解錠した時に、扉の開閉又は時間経過(20秒)により自動施錠します。

自動施錠設定スイッチの初期設定は、OFFになっています。  
設定を変更する場合は、下側電気錠制御ケース)のフロントを取外して、設定の変更を行ってください。



スイッチを上側にスライドさせると、自動施錠設定が「ON」になります。  
スイッチを下側にスライドさせると、自動施錠設定が「OFF」になります。

\* 自動施錠設定スイッチをONにすると、閉め出し等の危険性がありますので注意して下さい。

\* 外出する時はキー(鍵)やIDキーを携帯してお出掛けください。

■第2章 操作盤・操作表示器

1. 各部の名称

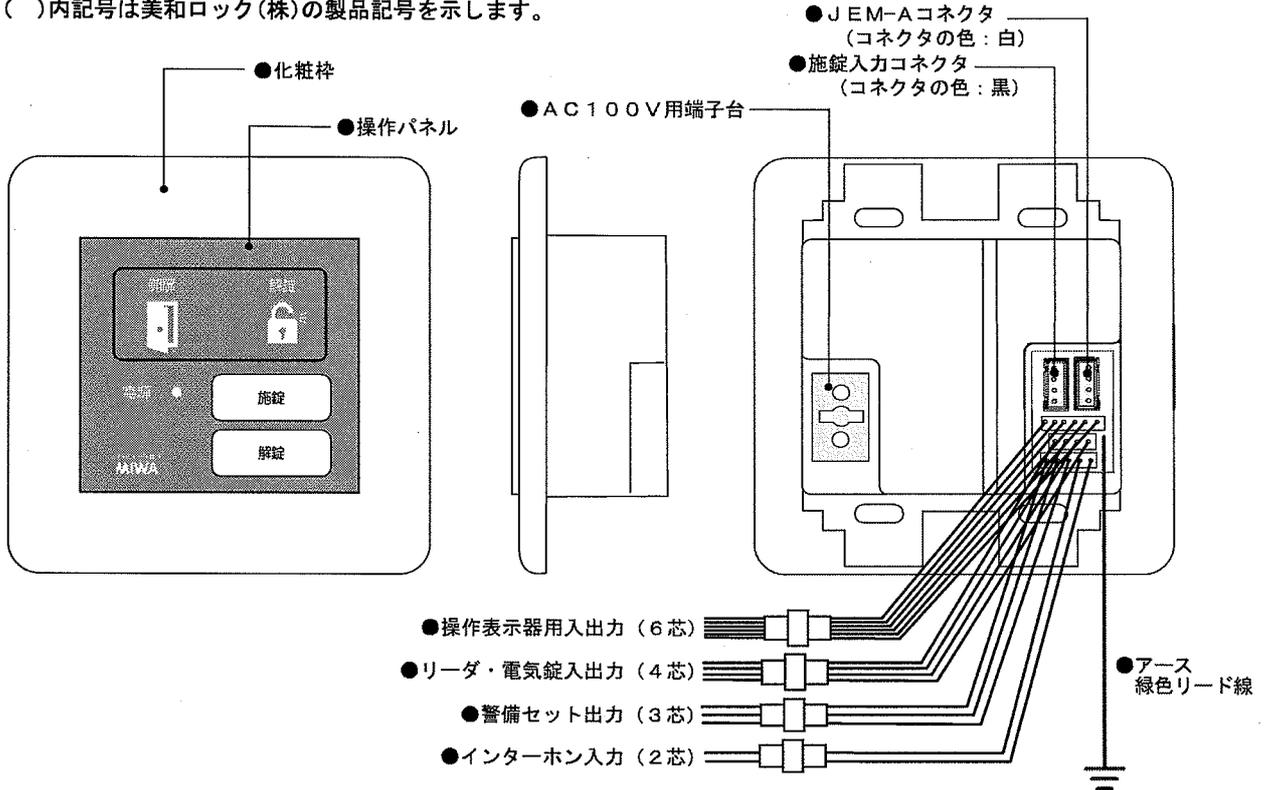
■操作盤 EW-1214 (SME-L-B01) (別途手配品)

操作ボタンで電気錠の遠隔操作、表示ランプで施解錠及び扉の開閉状態が確認できます。

電気錠や室外リーダに電源供給及び、他社機器との接続を行います。

※取付・接続方法については、製品に付属している取付説明書を参照してください。

※ ( )内記号は美和ロック(株)の製品記号を示します。



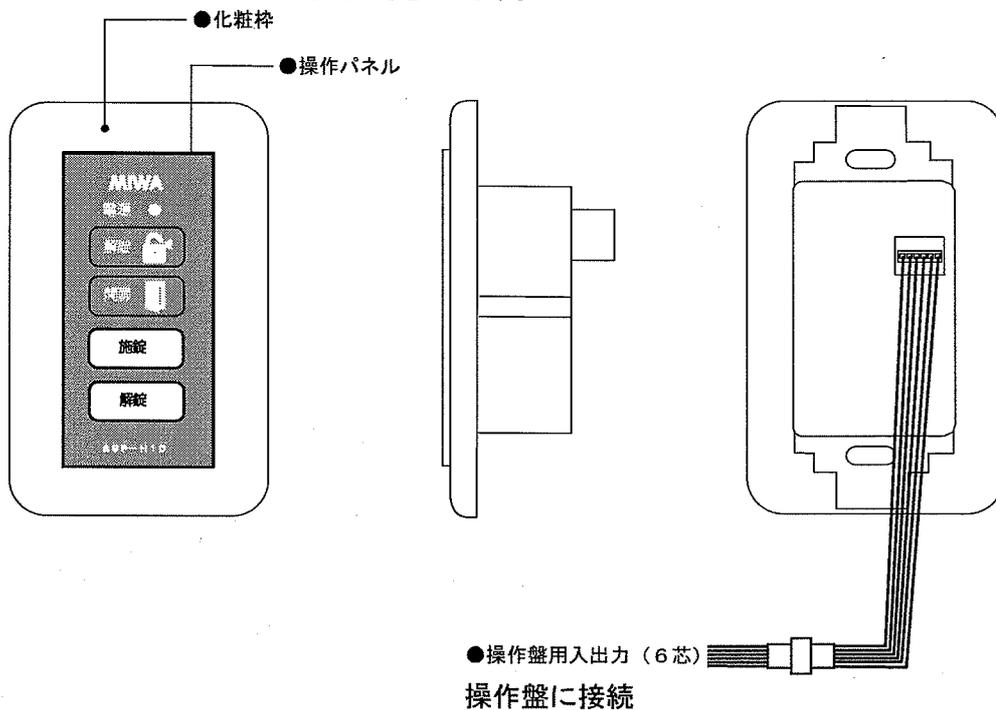
■操作表示器 EW-1215 (SSP-H1D) (別途手配品)

操作盤に接続する操作表示器です。最大3台まで接続できます。

操作ボタンで電気錠の遠隔操作、表示ランプで施解錠及び扉の開閉状態が確認できます。

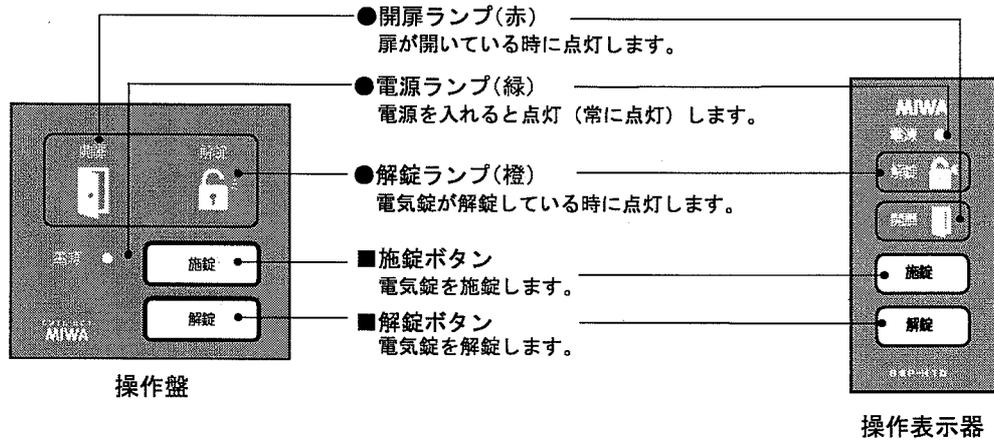
※取付・接続方法については、製品に付属している取付説明書を参照してください。

※ ( )内記号は美和ロック(株)の製品記号を示します。



■ 第2章へ操作盤・操作表示器  
2. ランプ表示の説明

■ 操作盤／操作表示器のランプ表示



● 扉や錠の状態によって、以下のように表示します。

電気錠(上側) (増設ケース)	電気錠(下側) (制御ケース)	閉扉	開扉	点滅間隔
施錠	施錠	 消灯 消灯	 点灯 消灯	
解錠	解錠	 消灯 点灯 (点滅)	 点灯 点灯 (点滅)	(点滅) 自動施錠ONの設定で 電氣的に解錠した場合。 ※点滅間隔：点灯0.5秒，消灯0.5秒
解錠	施錠	 消灯 ゆっくり点滅 (約3秒に1度点滅)	 点灯 ゆっくり点滅 (約3秒に1度点滅)	※点滅間隔：点灯0.5秒，消灯2.5秒 正しく施錠されていない時の 表示です。 扉の状態を確認してください。
施錠	解錠			

■第2章 操作盤・操作表示器  
3. 外部入出力の説明

<操作盤の機能>

- リーダ・電気錠用入出力 (最大配線距離 20m/導体径 0.9mm)  
通電金具等を介して、リーダを接続します。

■警備セット出力(オプション)

警備機器等を接続します。

- IDキーとリーダの警備セット操作により、無電圧接点信号(C接点)を出力します。
- IDキーで解錠操作を行うと、警備解除されます。

※キー、サムターン、操作盤、操作表示器、また外部機器からの解錠操作では、警備解除されません。  
※本機器が警備を行う訳ではありません。警備機器に対し、警備を開始・解除する為の信号を出力します

■JEM-A入力(オプション)

JEM-A規格準拠のHA機器を接続します。(標準機能の端子です。)

●閉扉の場合

信号が入力されると電気錠の状態が反転します。(解錠 ⇒ 施錠, 施錠 ⇒ 解錠)  
(自動施錠ONの場合は、解錠後、扉開閉または一定時間経過後、施錠します。)

●開扉の場合

自動施錠OFFの場合 → 変化なし。  
自動施錠ONの場合 → 閉扉後施錠します。

■施錠入力(オプション)

JEM-A規格準拠のHA機器を接続します。(施錠制御のみ可能なJEM-A端子です。)

●閉扉の場合

信号が入力されると電気錠が施錠します。

●開扉の場合

自動施錠OFFの場合 → 変化なし。  
自動施錠ONの場合 → 閉扉後施錠します。

■操作表示器(EW-1215 別途手配品)用入出力 (最大配線距離 100m/導体径 0.9mm)

操作表示器を最大3台まで接続できます。

遠隔から施解錠操作/施解錠状態確認ができます。

■インターホン入力 (最大配線距離 100m/導体径 0.9mm)

動作希望時メイクの無電圧接点信号出力(0.5~3秒)を持つインターホン等を接続します。

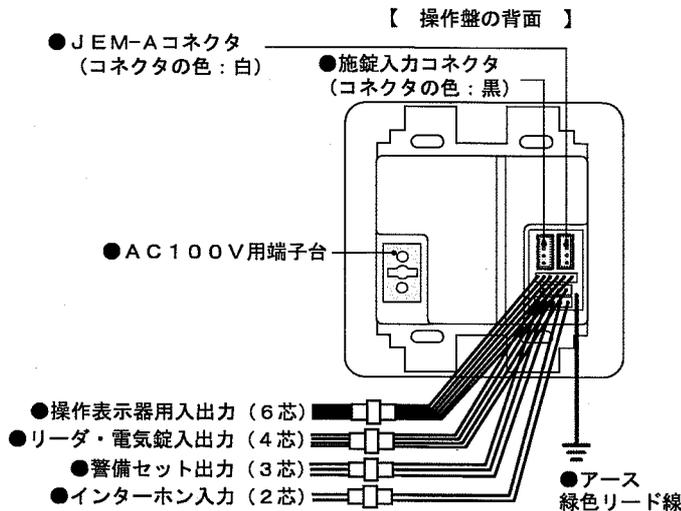
信号が入力されると電気錠が施錠又は解錠します。

●閉扉の場合

信号が入力されると電気錠の状態が反転します。(解錠 ⇒ 施錠, 施錠 ⇒ 解錠)  
(自動施錠ONの場合は、解錠後、扉開閉または一定時間経過後、施錠します。)

●開扉の場合

自動施錠OFFの場合 → 変化なし。  
自動施錠ONの場合 → 閉扉後、施錠。



■第2章 操作盤・操作表示器

4. 電気錠(制御ケース)への操作盤シリアルNo登録方法

\* 本電気錠は、防犯性を考慮して、操作盤を接続しただけでは使用できなくなっています。  
初めて電気錠を使用する時又は、電気錠や操作盤を交換した場合は、必ず最初に以下の操作を行ってください。

●電気錠(制御ケース)に操作盤のシリアルNoを登録します。

1) 接続・取付をすべて終了させ、電源をONする。

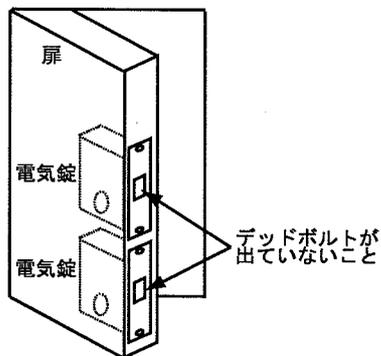
2) キーまたはサムターンで電気錠(制御ケースと増設ケース)を解錠し、扉を開ける。①図

3) 扉を閉め、キーまたはサムターンで電気錠(制御ケースと増設ケース)を施錠する。②図

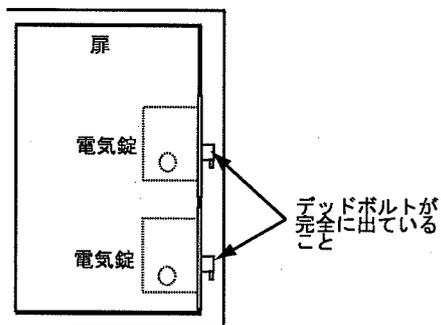
4) 制御ケースに操作盤のシリアルNoが登録される。

操作盤からの操作が可能になります。

①解錠・開扉にする



②施錠・閉扉にする



■第2章 操作盤・操作表示器  
5. 操作盤・操作表示器からの操作方法

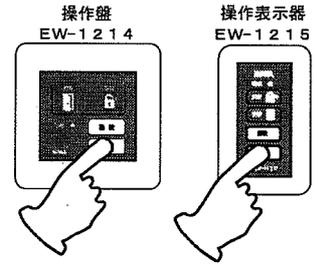
操作盤と操作表示器の操作パネルは、同じ操作方法です。

■解錠する

< 施錠状態の時 >

解錠ボタンを押すと、電気錠が解錠します。

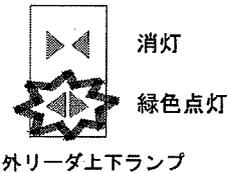
1) 操作パネルの解錠ボタンを押す。



2) 電気錠が解錠する。

電気錠が動作中は室外リーダの下ランプが緑色に点灯します。

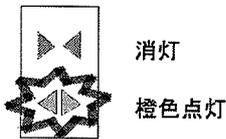
\* 警備セットした状態のとき操作盤、操作表示器で解錠しても、警備セット出力は解除されません。



※自動施錠設定がONの場合

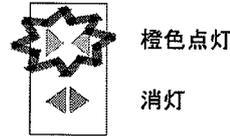
扉開閉後、または閉扉のまま約20秒経過後自動施錠します。

●閉扉解錠状態

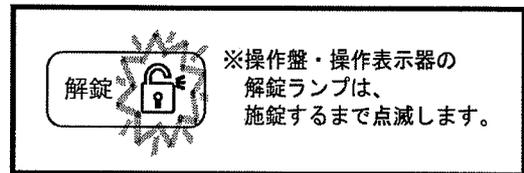


リーダ上下ランプ

●開扉状態



リーダ上下ランプ



※自動施錠設定が無しの場合

解錠を保持します。  
操作盤・操作表示器の解錠ランプは点灯します。



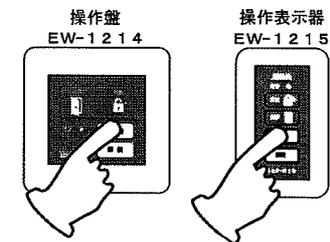
■施錠する

< 解錠・閉扉状態の時 >

施錠ボタンを押すと、電気錠が施錠します。

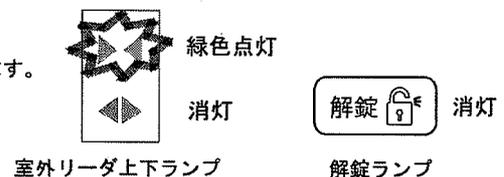
1) 操作パネルの施錠ボタンを押す。

施錠通电後、正しく施錠できなかった場合は再度、施錠通电します。  
(ブザーが鳴ります。)  
正しく施錠されているか、確認してください。



2) 電気錠が施錠する。

電気錠が動作中はリーダの上ランプが緑色に点灯します。  
操作盤・操作表示器の解錠ランプは消灯します。



\* 操作盤の操作パネル操作で施解錠ができない場合は、30ページを参照してください。